

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	財務会計1 (Financial Accounting 1) 393129-14600					担当教員	喬 雪水 (キョウ セツヒョウ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単 位 数	2	配当年次	3年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
財務会計の目的は、企業が株主や債権者などの外部の利害関係者に対して経営成績や財政状態を報告することである。財務会計の学習は企業が会計処理と財務諸表の作成・公開にあたって準拠すべきルールとされている会計基準を深く理解する必要がある。本講義は、証券取引法や商法をもとでの企業会計原則を中心に、数値例と仕訳を用いて、各会計処理の背後にある理論及び基準を総合的に解説する。会計理論と会計処理の両面から体系的に学習することにより財務会計を理解することを目標とする。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
専門的知識・技能を活用する能力 / 職業人として通用する能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
各回の講義前に、指定する範囲について教科書を必ず一読すること。必要に応じてプリントも配布する。講義後、必ず復習すること。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
簿記・会計関連の科目、特に「会計学1」及び「会計学2」を履修済みであることが望ましい。「財務会計2」と共に履修することを推奨する。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 財務会計の機能と制度を理解する (ii) 会計理論と会計基準が企業会計に与える影響を理解する (iii) 会計処理の各論点の意義と内容を説明できる									
⑥ テキスト(教科書)									
桜井久勝(2021)『財務会計講義 第22版』中央経済社									
⑦ 参考図書・指定図書									
なし									
⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法									

具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%			50%				100%
(i) 財務会計の機能と制度を理解する	10%			10%				20%
(ii) 会計理論と会計基準が企業会計に与える影響を理解する	20%			20%				40%
(iii) 会計処理の各論点の意義と内容を説明できる	20%			20%				40%
フィードバックの方法	毎回、講義のポイントをまとめるプリントを配布し、書き込み欄と穴埋め箇所を設けることにより、学習した内容を再確認し知識を深める。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
財務会計は「企業経営を総合的、包括的かつ統一的にとらえる唯一のツール」だと言われる。専門知識の勉強は無味乾燥なモノだが、理解して活用できるようになると、その達成感と喜びも大きなモノである。山登りはつらいが、山頂で素敵な風景が見られるという気持ちで取り込んでいきましょう。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション 第1章財務会計の機能と制度	教科書 筆記用具	教科書 pp. 1～20 を読んでくること。 プリントを復習すること。	60分
2	第2章 利益計算の仕組み	教科書 筆記用具	教科書 pp. 21～46 を読んでくること。 プリントを復習すること。	60分
3	第3章 会計理論と会計基準	教科書 筆記用具	教科書 pp. 47～70 を読んでくること。 プリントを復習すること。	60分
4	第4章 利益測定と資産評価の 基礎概念①	教科書 筆記用具	教科書 pp. 71～79 を読んでくること。 プリントを復習すること。	60分
5	第4章 利益測定と資産評価の 基礎概念②	教科書 筆記用具	教科書 pp. 79～90 を読んでくること。 プリントを復習すること。	60分
6	第5章 現金預金と有価証券①	教科書 筆記用具	教科書 pp. 91～105 を読んでくること。 プリントを復習すること。	60分
7	第5章 現金預金と有価証券②	教科書 筆記用具	教科書 pp. 105～117 を読んでくること。 プリントを復習すること。	60分
8	第6章 売上高と売上債権①	教科書 筆記用具	教科書 pp. 119～132 を読んでくること。 プリントを復習すること。	60分

9	第6章 売上高と売上債権②	教科書 筆記用具	教科書 pp. 132～144 を読んでくこと。プリントを復習すること。	60分
10	第7章 棚卸資産と売上原価①	教科書 筆記用具	教科書 pp. 145～155 を読んでくこと。プリントを復習すること。	60分
11	第7章 棚卸資産と売上原価②	教科書 筆記用具	教科書 pp. 155～164 を読んでくこと。プリントを復習すること。	60分
12	第8章 有形固定資産と減価償却①	教科書 筆記用具	教科書 pp. 165～182 を読んでくこと。プリントを復習すること。	60分
13	第8章 有形固定資産と減価償却②	教科書 筆記用具	教科書 pp. 182～198 を読んでくこと。プリントを復習すること。	60分
14	第9章 無形固定資産と繰延資産	教科書 筆記用具	教科書 pp. 199～216 を読んでくこと。プリントを復習すること。	60分
15	まとめ	教科書 筆記用具		60分

⑪ アクティブラーニングについて	
知識定着・確認型 AL を採用する。授業の内容を基に、毎回配布するプリントに内容のまとめ（空欄補助など）を行い、復習し、学習内容をフィードバックする。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性